

“贈り物”で支えませんか？精神科入院

一般社団法人Thoughtful Gift

わたしたちの活動の内容



依頼受領



病院へ配送



病院で検品



患者さんが使用

私達は神奈川県内で精神障害により精神科病院へ入院する際に必要な物資を無償提供する非営利団体です。
本人や家族に代わって入院生活に必要な物をそろえ、病院へお送りしています。

入院時に頼れる人は居ますか？

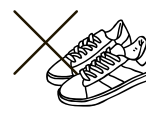
急な入院で準備ができない人がほとんどです

持ち込みの制約が多い、本人の具合が悪い
準備してくれる人がいない、お金がなくレンタル用品を借りられない、頼れる人がいない・・・
わたしたちへの依頼はどんどん増えています。

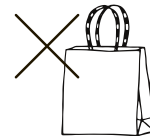
閉鎖病棟の持ち込み制限の例



洗剤など液体の物



紐のある靴
ジャージの紐



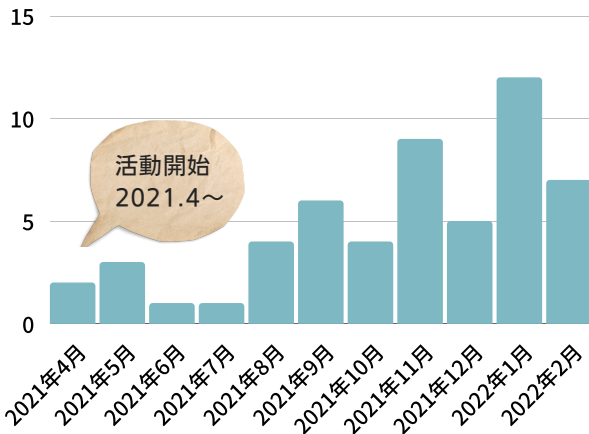
紐のある紙袋
ビニール袋



ガラス製の物
手鏡

※病院によって異なります

依頼数の推移



必要としている寄付物資例

1 ズボン・トレーナー・Tシャツ・ジャージ

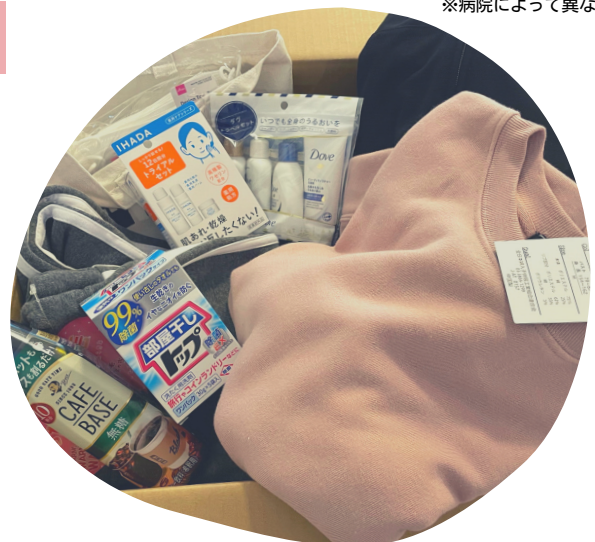
寝巻や、作業療法などで軽いスポーツをする時にも着れそうな衣類が必要です。病院に送るため古着ではなく新品または新品に近いものが理想です。

2 下着、靴下、靴

ノンワイヤーのブラジャーや紐の無いスニーカーなども必要です。病状によってお風呂に入れなかったり洗濯が出来ない方も居るので下着は多めに送っています。

3 シャンプー・洗顔料・化粧水など

アルコール依存症治療の病棟へも送れるノンアルコールの製品が必要です。皮膚が弱い方も使えるものを送っています。



病院の方や受け取った方からいただいたご感想

身寄りがなく荷物もないまま入院される患者様がいらっしゃいます。その度に衣類や日用品をどのように揃えたら良いか頭を悩ませていました。

病院ソーシャルワーカーAさん

思っていたよりも充実していて驚いています。緊急入院になってしまったので、金銭も持っておらず、テレフォンカードは大変助かりました。

依頼者Bさん

届いた荷物を披露してくださるなど、コミュニケーションのきっかけにもなりました。

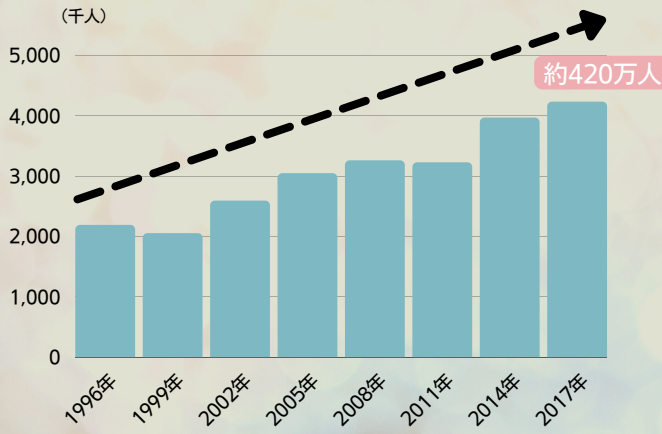
病院ソーシャルワーカーCさん

入院中の方からのお手紙です

2月は入院の様です。
おな様もとても大変な仕事だと
あなたの方のおおかげで帰れる人が
どうかお休みに気を付けて無事
本日に感謝 x10

国も重要視するメンタルヘルス

日本の精神疾患患者は30人に1人
20年前の約2倍に※1
生涯通じて5人に1人が経験 ※2



※1 平成29年(2017年)患者調査結果からみる精神疾患患者数とその推移(厚生労働省)
※2 2016年発行の世界精神保健調査(WMHS: World Mental Health Survey)

- 1 **2013年度：5大疾病の一つに**
※がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病+精神疾患
- 2 **2015年：過労死等防止対策推進法が施行
ストレスチェック義務化**
- 3 **2018年：精神障害者が障害者雇用義務対象に**
※身体障害者、知的障害者+精神障害者
- 4 **2020年：パワハラ対策が義務化**
※2022年より中小企業も対象
- 5 **2021年：法定雇用率引き上げ**
※1988年1.6%、1998年1.8%、2013年2.0%、2018年2.2%、2021年2.3%
- 6 **2022年度：高校で精神疾患の授業**
※「精神疾患の予防と回復」、約40年ぶり

“心の病”の労災認定は2020年度に最多となり
個人も企業も「予防」だけでなく
「理解」「対応」が必要な時代に。

企業様のSDGsへの取り組みとして

- 3 すべての人に健康と福祉を
- 12 つくる責任、つかう責任

メンタルヘルス問題が注目されている昨今の潮流とは相反し、意外にも精神疾患を抱える人々を支援する取り組みを行っている企業は少ないというのが現状です。
商品在庫をSDGs活動に活かさないか考えている、ノベルティグッズが余っている・・・
などありませんか？私たちの活動に是非ご協力をお願いします。

届けたいのは物を通じての気持ちです

入院という社会から孤立し取り残された感覚になりそうな状況でも、寄付物資を通して様々な方からのほんの少しのふれあいと
「私たちはあなたの回復をゆっくり待っている」というメッセージを届けていきたいです。

follow us



～誰もが自分の価値を信じ続けられる社会へ～

お問い合わせ先



thoughtfulgift.info@gmail.com



044-385-3107

※留守電の場合、伝言を残していただけると幸いです

Webサイトはこちら



企業様との
ご相談フロー

01

提供物資の内容、
個数の検討・すり合わせ

02

誓約書お渡し又は
合意書の締結

03

スケジュール等の確認

“ご協力いただいている企業の方の声

・A様
「事前想定以上にご活用頂けることを皆もとても喜んでおりました。」

・B様
「私たちの力では知り得なかった方々が、衣類をご活用して頂いているのは我々としても大変嬉しく思っております。」

その他にも「こんなことなら協力出来るかも？」ということがあればぜひご相談ください！